

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻を中心とした中間農業地域
- 担い手の高齢化に伴う担い手不足が加速し、後継者問題等が課題。近年は経営体数及び経営面積が減少。

【支援内容・背景】

- 中心経営体への刈取作業・乾燥調製作業を集約化し、作業の効率化及び経営コストを削減することで経営面積を拡大する必要。
- 助成対象者は地区内で大規模水稻経営を営む法人であり、近年、水稻を中心に経営規模を拡大。中心経営体として、地域の担い手から集約化に向けた多数の相談がある。

このため、地区における水稻経営の経営力強化の取組モデルとして育成・支援。



助成対象者「(株)吉野家ファーム福島」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成25年 法人設立(株式会社)
- 平成25年 経営改善計画の認定
- 平成26年 野菜集出荷場及び冷蔵庫の新設(耕作放棄地解消事業)
- 平成30年 水田面積を大幅に拡大(産地パワーアップ事業で目標50ha規模)
- 令和5年 地元産タマネギの剥き玉加工を実施し周年雇用の安定化
- 令和6年 水田49.8haに拡大(他に受託12.5ha)

《事業活用の背景》

○ 経営面積の規模拡大を図るためには、作業の効率化及び経営コストを削減し、高利率的な経営が必要。地域の中心経営体として農地の集約化を図るために、刈取・乾燥調製作業の効率化に資する機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R4年度〉

○売上高 137百万円

○経営面積 52.0ha

○化学肥料(低減) 360kg/ha

《事業による整備内容》

コンバイン 71ps 1台
事業費 10,450千円
(国費 4,750千円)

乾燥機 55石 AI機能付き 1台
事業費 2,860千円
(国費 1,300千円)

籾摺り機 1台
事業費 1,903千円
(国費 865千円)

【現在の経営状況】
〈R6年度〉

○売上高 189百万円(138%)

○経営面積 62.3ha(120%)

○化学肥料(低減) 334kg/ha
(▲7%)

事業の
効果

《対象者》 水稻経営面積の規模拡大を実現し、売上高及び経営面積の増、化学肥料の削減を実現。

《地区》 地域の刈取・乾燥調製作業を集約化し、米価に左右されない安定した経営が可能な大規模水稻経営モデルが確立。